

事務事業評価シート

事業番号 No. 38		事務事業名 市産農産物等活用推進事業補助金		所管部課 産業振興課						
基礎情報	事業開始時期【1】	平成22年度		実施形態【2】	☐ 直営 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ その他 ()					
	根拠法令等【3】	西東京市市産農産物等活用推進事業補助金交付要綱								
	総合計画【4】	基本目標	6 活力と魅力あるまち	基本施策	13 産業が活性化して活力あるまちになるために	施策	13-1 産業の振興			
	個別計画【5】	計画	第3次西東京市農業振興計画	施策等①	食と暮らしを支える多様な農業経営	施策等②	市内産農産物の品質・価値の向上			
事務事業の概要	事務事業の目的と目指す成果【6】	西東京市を産地とする農産物又は市産農産物の加工品の生産を行う事業者が市産農産物等の販売等に用いる資材(西東京市農産物キャラクターの「めぐみちゃん」を表示したもの)に係る経費の一部を市が補助することにより、市産農産物等を市民に広く宣伝し、市民の都市農業への関心と理解を深めるとともに、市内における農業の育成及び振興を図ることを目的とする。								
	事務事業の内容・実施方法等／補助の概要【7】	【補助の概要】 ■補助対象者 ①市内に農地を所有し、自ら市産農産物を生産し、及び市内で販売している農業者 ②都市農地の貸借の円滑化に関する法律(平成30年法律第68号)第4条第3項の規定により市から認定を受けた農地で、自ら市産農産物を生産し、及び市内で販売している農業者 ③認定農業者(5年間の経営計画を作成し年間農業所得300万円以上を目標とする、市内農業をリードし中核的役割を担う農業者のこと。) ④市内に農地を所有し、自ら市産農産物を生産している市内の団体 ⑤市内で市産農産物の加工品の製造及び販売を行う事業者 ⑥市産農産物を使用し、めぐみちゃん認定商品の販売を行う事業者 ■支払方法:確定払 ■補助率:3分の2 ■補助上限額:①、②は2万円、③は4万円、④、⑤、⑥は5万円 ■国・都補助の有無:なし ■上乗せ横出し補助の有無:なし ■補助対象経費:資材の作成又は印刷に係る経費、資材の購入に係る経費等								
事業費データ	項 目	令和5年度(決算額)		令和6年度(決算額)		令和7年度(決算見込額)		令和8年度(予算額)		単位
	事業費計【8】	686		529		607		805		千円
	財源内訳									
	国庫支出金・都支出金									
	その他()									
	一般財源	686		529		607		805		
	人件費計【9】	604		669		669		669		
内訳	0.09 人 604 千円		0.09 人 669 千円		0.09 人 669 千円		0.09 人 669 千円			
総コスト	1,290		1,198		1,276		1,474			
活動実績【10】	項 目	令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度		令和 8 年度		単位
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	
	①申請者数	-	32	-	24	-	25	30	27	人
②										
成果指標【11】	項 目	令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度		令和 8 年度		単位
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	
	JAの梱包資材出荷数	-	14,280	-	15,810	-	13,740	11,000	-	枚
	①【成果指標の説明】 成果目標としては「めぐみちゃんを表示した資材の購入枚数」が適しているが、補助金申請後にも別途購入する農業者がいるため、「JAの販売枚数」を成果目標に設定する(春と秋の2シーズンで購入する農業者が多いが、春購入分のみで補助金の上限額に達してしまうため)。									
②【成果指標の説明】 補助対象者の中で当事業を利用している対象者の割合として設定。 【参考】「市内産農産物キャラクター(めぐみちゃん)の活用について教えてください。」(令和4年実施調査) 回答者数:238/238 前回調査(平成29年実施)においては、「めぐみちゃん資材を購入している」が25.7%、「特に活用する意向はない」が47.8%										
事業環境等	事業実施においての課題点と改善に向けての取組【12】	事業開始以降、補助上限額の見直しがされておらず、近年の物価高騰の影響で事業者負担が増加している。特に認定農業者は購入額が大きく、負担額も大きくなっている。(補助金額のうち、認定農業者に対する補助金額は全体の約60%)								
	他団体の実施状況【13】	回答自治体数:20市中15市が実施。 西東京市の予算額(880千円)は15市中13位。平均値は2,923千円。 (他市調査では、「資材に対する補助金」と広義で調査を行ったため回答にばらつきがある)								
	代替・類似サービスの有無【14】	☒ 有 ☐ 無	西東京市農業団体等補助金の交付対象事業(7)と類似しているが、当補助金は西東京市農産物キャラクターの「めぐみちゃん」を表示した資材に限る。							

【検証項目】

検証項目 【15】			一次評価	二次評価	本部評価	
	必要性	事業の実施が国・都の法令等で定められている	非該当	非該当		
		市が主体となって実施しない場合、市域内における当該サービスの提供が不十分になる恐れがある	非該当	非該当		
		現下の社会経済情勢に見合った事業である	該当	該当		
	有効性	成果指標の達成状況はどうか	1	1	0	/9
		上位施策等の目的の達成に向けて事業の対象は適切か	3	3		
		上位施策等の目的の達成に向けて事業の内容・実施方法は適切か	3	3		
	効率性・経済性	業務プロセスに改善の余地はないか	2	2	0	/9
		投入したコストが活動実績に見合っているか	2	2		
		国・都の補助金や受益者負担など、一般財源以外の財源確保がされているか	-	-		

【一次評価・二次評価】

一次評価 【16】	必要性	市内農業の中核を担う認定農業者が数多く利用している補助金であり、「めぐみちゃん」が印刷された資料を使用することで、西東京市産ということが一目でわかる。「西東京市産」がブランド化できれば、販路の拡大や市民の購買意欲の増進にもつながり、市内の農業振興に寄与するため今後も継続していく必要がある。	二次評価 【17】	必要性	市内農業の活性化のためには、市内産農産物の付加価値向上を図るとともに、地産地消を推進する必要がある。
	有効性	西東京市農産物キャラクターの「めぐみちゃん」を表示した資料を使用することで市内産野菜のPRができ、市内産野菜の販売を促進しているものとする。比較的経営規模の大きいと言える認定農業者に対する補助金額の割合も補助額全体の約60%であり、市内産農産物の宣伝に有効であるとする。		有効性	西東京市農産物キャラクターの「めぐみちゃん」を表示した資料を使用することで市内産農産物の認知度向上に寄与することに一定の効果があるものとするが、資料の種類や、販売店舗の拡大等の検証をする必要がある。
	効率性・経済性	提出書類の不備削減のため、記入例をわかりやすくする、記入内容を簡素化するなどの事項を検討する。認定農業者の半数以上が利用しているが認定農業者は経営規模が大きく、自己負担額が大きい傾向にある。平成29年以降、上限額が見直されていないことから認定農業者の上限額を筆頭に見直しを検討する必要がある。		効率性・経済性	農業者の制度利用促進を図るため、効率的・効果的な申請方法などについて、引き続き検討されたい。

【外部評価】

評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等【18】	

【行革本部評価】

9 有効性 改善・見直し (効率性・経済性) 現状維持 効率性・経済性 9 3 抜本的見直し 改善・見直し (有効性) 3	コストの方向性	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
	総合評価	
	必要性	

改善の方向性と今後のスケジュール【19】	